



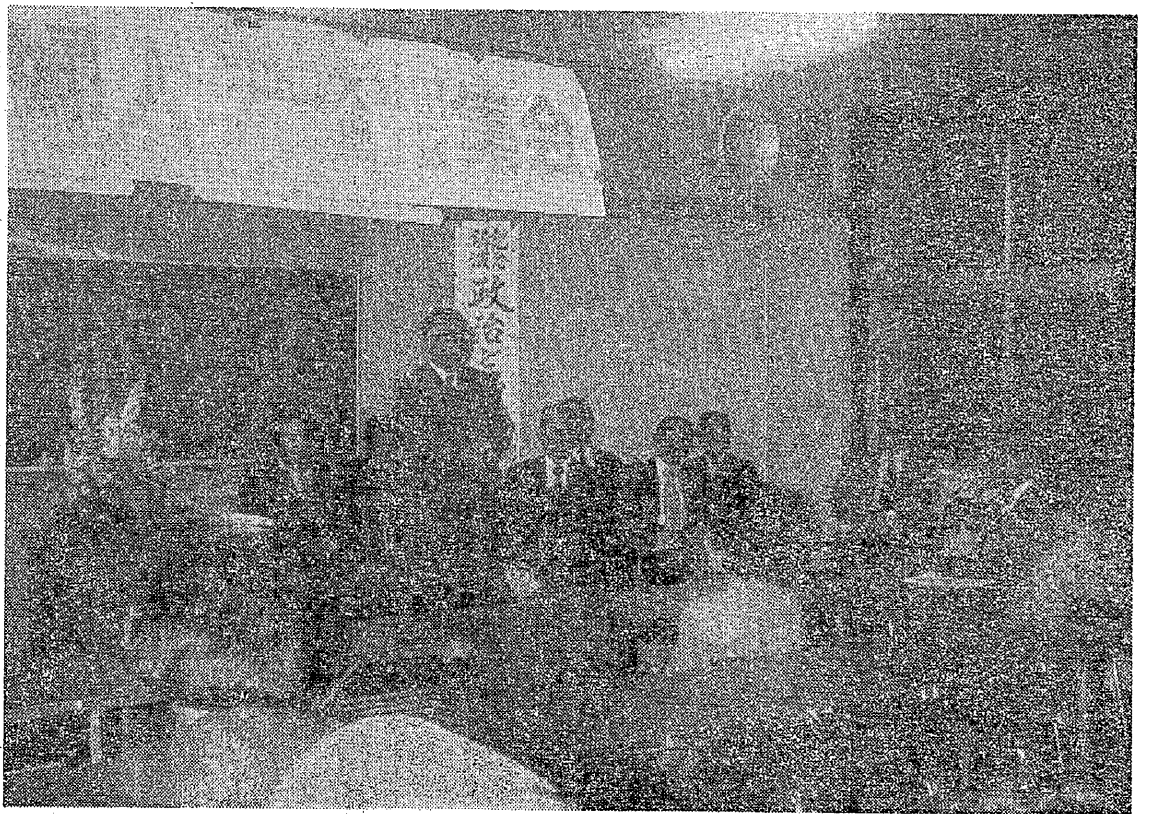
いよいよ
よ地方選
挙がはじ
まりまし
た。闘い
の目標は、勝たねばならぬ
と、いふことです。これがみんな
の声であり、念願でもありま
す。

闘う目標は一つ

港務新港分會 池田 スミ

安部と三池の闘いを頂点とし
ていくが前進し、保革逆転を
目指して追いつめながら、な
かなかその成果を見る事ができ
ない。とくに県知事・市長選では
涙、涙の連続。また市議選
では、理有勢力を守る事だけの
闘いとなりつつあります。

の街として栄えた街という声を
ば負けています。反独立・反自民
耳にしますが、果たしてそれで
しょうか。事実は首切り合理化
の街、公害の街、斜陽の街で、
戦後の高度成長期さへかくと
り残された街、と見る方が私は
に終止符をうち、私達の組織の



写真は、3月9日大牟田で催された「第18回国際婦人デー集会」の様。挨拶している人は
川口六平大牟田市長候補。(写真は三池主婦会の山本恵美子さんの提供によるものです)

故宮川元組合長、安らかに

遺訓を守り、活動することを誓う

四山指導部 飯田 誠子

宮川さんが亡くなりましたという
電話を受けたのは、三月十七日の
早朝でした。驚愕はしていたもの
の、こんな早く悲報に接するこ
とは……。しばらくはその場に立ち
すくんでしまいました。

一瞬、宮川さんの温顔とも
に、お元気な頃のお姿が脳裏をか
げめぐりました。

宮川さんは、資本に対しては一
歩もひかない厳しい人でしたが、
仲間に対しては実に温い人です。
主関白などにはあきらめず、決して事
を成すまでと、決意を固めていた

忙しい組合運動の中で、たまに
奥さん(お勤めでした)より早く
帰られることがあつた、野菜など
の買い出しにも気軽に出かけ、夕
食の準備もして待っておられまし
た。漬けものは得意なようで、私
たちは「宮川漬」と呼んでいただ
けで、

私たちが宮川さんの遺訓を守
り、三池の運動の発展を信じ、労
働者の前進を誓う方法だ、
と、その日の学習テーマの要点を
書いたパンフレットを準備してこ
られました。

働者の前進を信じて、今後も学習
に日常活動にはげめたいと思いま
す。

主婦会長の弔辞

春まだ浅い日、宮川さんのご逝
去の報に接し、悲しみがこみあげ
胸ふさがる思いでした。

あなたは闘いがどんなに苦しい
ときも、どんなにつらいときも、
つねに私たちの先頭にあって勇敢
に闘って下さいました。慈父のよ
うなお顔が、私たちの脳裏にすみ
がえつてきます。あのにこやかな
笑顔のなかに、組合員やその家族
を思う苦悩は如何ばかりだったこ
とでしょう。

しかし貴男の尊い指導と闘い
の教訓は、私たちの誇りとなって
主婦会員一人ひとりの胸のなかに
刻み込まれています。

この上は、生前のご恩の万分の
一に報いるために、おぼろげなが
ら主婦会一同は、組合とともにに
げましの心をこめて、心を凝らさ
せてお慰めいたします。

それとともに貴男のお志を受け
継ぎ、三池の家族ぐるみの闘いの
正しさをさらに発展させ、労働者
解放を目指し、ねばり強く闘うこ
とをお誓いいたします。

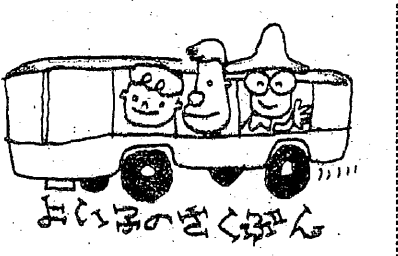
宮川さん、どうか見守っていて
下さい。

弔辞は披露で、島文枝・主婦会
長から献げられたものを、組合葬
の際平川弘子・同事務局長によつ
て墓前で代読されました。

よう。藤は長い根はあ
まり切らず(古い根は
やはり切りつめる)、
丸めて植えて下さい
い。

石南花は古土を軽く
おとし、鹿沼土五、赤
土二、山崎三を混ぜ合
せ植え付けます。植え
に保護し、日中は葉水を与える。
海苔、ボケなどの取り木も今
です。やり方は取り木したい部分
を小刀で木質部まで切りまわし、
三〜四センチメートルほど皮をむ
く。次に水ゴケを水にひたし、あ
まりよくしぼらず、皮をむいた
部分に巻きつける。その上をかわ
かないようにビニールでおおい、
上下をビニールで。約一月ぐ
らいから発根をはじめます。

十月頃根をいたないように切
り取り、植えつける。できれば、
しずかにコケをはずして植えつけ
るとよろしい。一度お試しを。



おとうさん

一ねん 小ざきゆうこ

わたしのおとうさんのきらいな
ものは、めだまきです。

どうしてきらいなかっていうと、
おとうさんがけっこんするまえ
は、まい日あきのひは、めだ
まきだったからです。

おとうさんのきらいなものは、く
つにべるとみないなものがついて
るくつです。

わたしのうちには、べるとのつ
やんやわたしたちにもういす
ととき、おとうさんがかかっている
と、おとうさんがかかっている

と、おとうさんがかかっている
と、おとうさんがかかっている

と、おとうさんがかかっている
と、おとうさんがかかっている

詩

かいじゆ

う雲

三年 小崎郷子

雲を見ていたら
かいじゆに見えた
まっ白い雲
かいじゆ雲は
風にながされていった
私はその雲を
ゆつくりと目でおいかけた
かいじゆ雲はほのか雲とおつ
かって

もっと大きくなった
私が「ふー」とため息をつく
目のまえの小さな短かい草が
さらりと音をたててくれた

と、おとうさんがかかっている
と、おとうさんがかかっている

と、おとうさんがかかっている
と、おとうさんがかかっている

松柏類の植え替え



松、五葉松、真柏な
ど植え替えの好季。

一般に若木は二〜三
年に一回、老木は三〜
四年に一回の割合に植え替える。時
季は三月中旬〜四月末ぐらいいま
に行えばよろしい。

まず鉢より取り出し、まわりの
土を少し落し、根先を二〜三寸切
り詰める。ただし、雑木ほどには
切りつめることはできません。

用土は、前記した赤土と粗砂と
を六〜四の割合で植えつける。

雑木類の植え替え
ケヤキ、百日紅、紅葉、八重桜
なども今が植え替え期。古根を切
りつめて新根を出させ、弱った盆
樹などは元氣を出させよう。

用土は、七・三の割合で結構でし